

大きな成果が出ます。その状況に注視していただきたいと思います。

幼稚園・保育所の統合と民営化について



後藤千明 議員
(21政会)

問 約10年前から幼稚園構想があり、既存の施設を活用して中学校区に1つの幼稚園を設置する答申が出された。その後、統合から民営化へとあいまいな計画を発表しては市民を不安がらせてきただけで何ら進捗しないが、その要因は何か。

また、現在の加西市の優れた幼保のあり方を放棄して民営化することがプラスになるのか。市民の意向に沿った実現可能な全体計画を時間をかけて進んでいくべきではないか。

答 幼稚園構想を立ち上げる

ときに議論し、これから進むべき加西市の保育、幼稚園教育のあり方についての方向性がありましたが、その後国の制度等が変わり少し変更した形になりました。

民営化の利点は多様な保育、教育ニーズに対応したサービスが受けられること、施設環境が改善されること、通園バス等のオプション的なサービスも期待できることだと思っています。幼稚園構想について、真剣に幼稚園や保育所のあり方を議論をしていただいたことは承知しており、市の財政や、職員とアルバイトの構成等、課題は多いですが、今後十分に意見を聞きながら進んでいきたいと思っています。

障がい者福祉の向上について



井上智章 議員
(新政会)

問 市内でも6小学校で学童保育が実施されている

が、障がいを持った子どもたちの学童保育は実現していない。小野市・加東市等でも、タイムケアサービスとしての保護者の就労支援や、精神的ケアのためのレスパイトケア*として障がいを持った児童・生徒への一時預かり、長期休暇中の預かりが実施されている。市として障がい

者福祉についてどのように考え、どう取り組むのか。

答 学童保育については、障がい者等がその小学校に

いれば、その中で見ていただけることになろうかと思っています。それ以外の障がいのある子どもたちは、現在デイサービスの利用や日中一時支援で対応されていますが、課題として、デイサービスは北播磨地域にサービス提供事業所がなく、日中一時支援も子どもだけでなく大人と一緒にになった預かりという状況になっており、今後は児童・生徒に着目した受け皿も必要と思っています。場所的な確保等ができれば、放課後の児童の預かり等のケアができる可能性もあり、今後とも親の会等の声も聞きながら検討を進めたいと考えています。

安全・安心の街づくりについて



土本昌幸 議員
(公明党)

問 光ファイバーを活用した高齢者の見守りについて

の考えは。例えば、センサーをつけて倒れられて動かなくなったり、ボタンや携帯電話を操作できない人を発見するためのシステムが必要ではないか。



緊急通報システム

答 高齢者の家にセンサーを設置し、一定時間以上動かない状態が続くと、協力者や遠方の親族に通報される仕組みや、パソコン等で映像を確認するといったことが考えられます。

加西市の緊急通報システムは昨年度から導入し、24時間体制で看護師も配置していただきながら、お元氣コールという定期的な安全確認の電話もしていただく仕組みとして導入しています。光ファイバーが普及してきていますので、新しい技術に乗せて見守り体制を構築するいろんな組み合わせが出てくると思います。ただ、昨年度導入した体制が稼働したばかりということもありますので、十分検討させていただきます。

人口増対策における子育て支援について



三宅利弘 議員
(加西想政クラブ)

問 加西市の人口増対策のうち、子育て支援は重要課題と思うが、その内の保育サービスの充実について、保育料の値下げ、保育時間の延長、保育

年齢の拡充などはどのように考えているのか。

また、子育て広場の持つ役割、子育て相談への対応は、どのようにされているのか。

答 保育料については、近隣市の状況、市の財政状況を鑑みて、これから先も検討を

続けます。保育時間については、人的な補充も踏まえて検討します。保育年齢については、子どもたちの安全確保から概ね8ヵ月以上の子どもを預かりたいと考えています。

子育て広場は、未就園の子どもをお持ちの保護者が気軽に相談でき、いろんなメニューを体験しながら親同士の交流等ができる場所を提供するという趣旨です。子育て相談は、幼稚園、

*レスパイトケアとは…乳幼児や障がい児・者、高齢者などを在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス